

## ワクチンの有効性・副反応などについて

ワクチン接種は、感染症予防効果と副反応のリスクの双方について正しい知識を持ち、本人の意思に基づいて接種を判断することが重要です。

ワクチン接種に関して、根拠のない情報、風評などが発信されています。誤った情報に惑わされずに国や府からの公式情報を確認してください。



### 有効性

日本では現在、ファイザー社、武田／モデルナ社、アストラゼネカ社のワクチンが薬事承認されており、予防接種法における接種の対象になっています。いずれのワクチンも、薬事承認前に海外で臨床試験が実施されており、発症予防効果が確認されています。

### 発症予防効果

ファイザー社製 約95% 武田／モデルナ社製 約94% アストラゼネカ社製 約70%

### 副反応

#### 主な症状

注射した部分の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢など

接種後、上記の症状が現れることがあります。接種の翌日をピークに発現することが多いですが、ほとんどの症状は数日以内に回復しています。

また、1回目接種後よりも2回目接種後のほうが、副反応の頻度が高くなる傾向が確認されています。1回目の接種により、体内で新型コロナウイルスに対する免疫ができることで、2回目接種後にはより強い免疫応答が起こり、発熱や倦怠感などの症状が出やすくなるためです。

症状には個人差があり、1回目接種後より2回目接種後が必ず強い免疫応答が起きるわけではなく、症状が無いから免疫がつかないわけではありません。また、アストラゼネカ社のワクチンでは、2回目接種後のほうが副反応の頻度が低くなる傾向があります。

まれにアナフィラキシー（急性アレルギー反応）が起こっても、すぐに対応できるよう、予防接種会場や医療機関では医薬品などを準備しています。

## 被害救済制度について

新型コロナワクチン接種により健康被害が生じた場合、その被害が接種によるものであると厚生労働省大臣が認定したときは予防接種法に基づく救済を受けることができます。詳しくは厚生労働省のホームページを確認してください。



厚生労働省  
ホームページ

## ワクチン接種後の生活について

新型コロナワクチンは、高い発症予防効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。ワクチン接種後もマスクの着用など感染予防対策の継続をお願いします。



# 新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

圏保健センター (TEL4798・5675 FAX6339・7075)

市では、国が示すスケジュールなどを踏まえながら、3回目接種についての準備を進めるとともに、ワクチン未接種の人への接種体制も確保しています。最新情報は市ホームページや市公式SNSなどでお知らせしますので確認してください。



市ホームページ



市公式LINE



市公式Twitter

## 追加接種(3回目接種)について

国は、新型コロナワクチンの3回目接種の開始時期について、医療従事者などを対象に12月から開始するとの方針を示しています。市では、2回目接種からおおむね8か月を経過した人を対象に、12月以降に順次接種券を発送していきます。

### 2回目接種後に吹田市に転入した人

接種券発行の申請を市に行く必要があります。申請方法など決定しだい、市ホームページなどでお知らせします。

## ワクチン接種を希望する未接種の人について

市では、希望者への接種が計画以上に進んだことから、接種体制を縮小しています。接種を希望する人は、引き続き接種体制を確保していますので、予約方法や接種場所など最新情報は市ホームページなどで確認してください。

## ワクチン接種状況(11月9日時点)

全対象者(12歳以上)の2回目接種者数は、令和3年3月に策定した「吹田市新型コロナワクチン接種実施計画」の接種計画どおりに進みます。

2回目接種者数 実績 25万4960人 計画 20万5600人

